藤屋 侃士
（下松市幸ケ丘）

韓流ドラマ
～ちょっと済州島へ②～

最近、何かにつけて思うのは、男性より女性の方が元気で強いということだ。平均寿命が男性より女性の方が六歳以上長いのも一つの要因だが、そんなこと以上に女性の方が日々の生活を楽しんでいるように思える。

去年、東日本大震災の被災地にボランティアで三回行ったが、参加者は女性の方が圧倒的に多い。仮設住宅の被災者と集会所で交流したが、被災者の参加者のほとんどが女性であった。

また昼食でちょっとの話をする。と、「それも見ました」とバスの中は急ににぎやかになる。

我が愛妻殿も韓流ドラマファンであるが、私が余りいい顔をしないので一日一本で我慢しているらしい。そして友人に「見せてもらえないの」と同情させ、ご婦人方から「TVぐらい自由に見せてあげるべきよ」と非難され、悪代官扱いとなる。

とにかく韓流ドラマは、一度はまると次々に見ることになるらしい。そしてそのロケ地が観光産業を支えている面もあるようだ。私は見ないが話を客観的に分析すると、国として人気の出るドラマを作らせ、それを海外でも放送して外貨を稼ぎ、ロケ地などで観光客を韓国に呼びよせるという構図になっているらしい。今回のツアーのパンフレットも「韓流ドラマロケ地巡り」と明記してあった。

韓国はカトリック、プロテスタントを合わせると国民の四分の一がクリスチャン。韓流ドラマの背景に教会や修道院、シスターが出ることもかなりあるとか。今回、岬の端の立派な教会を見たが、ガイドによると、映画のロケのために建てられ、今はドラマの博物館になっているといっていくのは無理なのであきらめた。

韓流ドラマの悪口を言って女性を敵にまわすつもりはない。以前、韓国に行った時、「冬のソナタ」のロケ地に行き、この連載を書くため帰国して初めてレンタルビデオショップに借りに行った。その際、余りに韓流ドラマコーナーが広くたくさんの作品があるのに驚いた。私の認識不足だった。

言い訳をすれば私はBSの旅物語以外、テレビを見ないだけの話。次々にスターを誕生させ、教会まで建ててロケをするスケールの大きさに脱帽。

今回は年賀状の写真を撮るためにツアーに参加し、年賀状には昔のオモニ（母親）の石像を横にした夫婦の写真を使用した。今の韓国は整形による美男美女が多いという話だが、私の頭の中にあるのはオモニの韓国女性。民俗村で現代版オモニに言葉巧みに馬の骨の薬や五味茶などを勧められ、韓流ドラマを見なくても韓国経済発展に寄与したのである。

ドラマのロケのために建てられた教会

民俗村のオモニは案内より品物を売るのに力が入る